

# 中 部 N O W

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・センター会報

第 294 号  
令和元年 8-9 月号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター  
〒470-0328 豊田市勤八町勤八27-56  
TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103  
E-mail: chubu@oisca.org http://www.oisca.org/



## 三河ダイハツ第一期技能実習生の旅立ち

7月6日(土)、2016年に入国したカイルル、ムイズの修了式が行われました。板金塗装専門のカイルルとメカニックをバックグラウンドに持つムイズの日本での3年間を振り返ると、お世話になった方々への感謝とこれからの希望で心が熱くなります。技術はもちろん、日本社会での常識、職場倫理、チームワーク、厳しくかつゴールをしっかりと見据えた研修は彼らを見違えるほど成長させました。御出席いただいた三河ダイハツの岸専務からも激励の言葉を頂き、彼らの研修はまだ終わらないことを示唆されました。これからはダイハツの現地法人 Nagoya Automobile Malaysia での活躍が期待されています。そんな彼らの見送りには、30名以上もの会社の方々が駆けつけて下さいました。後輩にも良い先輩像を残してくれた二人。素晴らしいチームに支えられて、さらに飛躍することでしょう。彼らの旅立ちに当たり、お世話になりました皆様に、心よりお礼申し上げます。

宗像 ジュイエ(筆)



## 沖縄技能実習生入所

7月9日(火)、フィリピンの技能実習生9名が入所しました。彼らは1か月間中部センターで基礎研修を受けた後、沖縄の農家、酪農家で実習予定です。

基礎研修中は日本語を始め、日本のマナー、交通ルール、食事の作法など日本で生活していくうえで重要なことを学びます。

始めは自国との違いにとまどい、慣れないお箸で食事をするのにも一苦労していましたが、今ではだいぶ慣れ、日々日本語の学習に励んでいます。

写真は防災学習センターにて防災学習をしている様子です。技能実習生の中には地震を体験したことのない人もいますので、災害時の対処方法についてしっかり学んできました。

中村 仁美(筆)



**コラム** オイスカの研修「規律訓練」  
今月はオイスカの研修の中から「規律訓練」についてご紹介したいと思います。研修生が入国してから2か月間は「基礎研修」と位置付けており、この間日本語授業に加え、「規律訓練」が課されています。訓練中は、「気をつけ! 休め! 右向け右!」など大きな声が場内に響きます。  
さて、これは何のためにやっているのでしょうか。こうした訓練は一般的に「規律訓練」といいますが、自衛隊・消防・警察等の組織では規律訓練が徹底されています。なぜなら「国民の生命と財産を守る」という1分1秒を争う、常に緊張を強いられる仕事の場合、規律の緩みが1秒2秒という時間を遅らせ、助かる命が助からないことにもなりかねないからです。  
ただし、オイスカの規律訓練は自衛官や警察官を養成するためのものではなく、「規律訓練」という手法を用いて、「リーダー」の「方針・指示」に対し、構成員は速やかに行動・実行するという組織のあり方を、「規律訓練」の動作を繰り返すことで、体で身につけることを目的としています。また、規律訓練には、「号令調整」といわれる、リーダーの指示により「大きな声」を出す訓練があります。「大きな声」が出るかどうかは、もちろん個人差があります。大事なことは、「自分なりに精いっぱい声を出し切る」ことです。  
仕事においても同様で、「力を出し切る」ことの大切さ、これを号令調整によって理解をしてもらうのです。さらに規律訓練は、複数の構成員の動作が揃うまで繰り返し反復をすることで、統一された動作が完成します。規律訓練を通じて、組織の性質やリーダーの役割、協調性が習得できるのです。このように規律訓練の目的は大変奥が深く、効果は絶大です。オイスカ研修生が修了式のスピーチで語るのには「規律」なのです。海外研修生にとって、「規律訓練」を通じて、「規律」の重要性を学ぶ機会が得られることは貴重なことであり、帰国後リーダーとして活躍する彼らを精神の「杖」として支えてくれるのです。

小杉 裕一郎(筆)

## 日本モールド工業(株)新入社員研修

7月22日～24日の3日間、日本モールド工業(株)(本社安城市)の新入社員研修を実施しました。同社は卵パック・フルーツパック・工業用緩衝材等を製造しており、当センターのオイスカ卵の紙パックは同社製造のものを寄贈していただいています。同社は数年にわたり、定期的な新入社員の採用が続いており、人材育成の必要性が高まる中、今回初めてオイスカでの新入社員研修に社員の派遣が決定されました。

研修は、オイスカ豊田推進協議会副会長のタカハマホールディングス高濱耀圭社長に「挨拶実習」の指導をいただいた他、農業実習、ボランティア入門等オイスカの特色を活かした研修が行われました。受講生も、講師の熱意に応えるかのように、各講座を熱心に受講し、大変充実した研修となりました。オイスカにご協力いただいている会社様の社員研修は、担当職員もやりがいがあり、お互いに達成感を感じる研修となりました。

小杉 裕一郎(筆)



## MUFG(三菱UFJフィナンシャル・グループ)との交流会

7月13日(土)に、西日本研修センターをご支援いただいている MUFG の皆様が来所され、研修生達と交流をしました。西日本研修センターからは 20 名の研修生が7月11日から滞在し、準備をして当日を迎えました。MUFG からは 50 名の方にご参加いただき、西日本センター、中部センターの研修生達(13か国35名)を激励していただきました。マレーシアやモンゴル、パプアニューギニア、フィリピンの料理と一緒に作り、昼食を楽しみました。

昼食後は研修生が、各国の事情やセンターの様子を参加者の皆様にご紹介しました。畑では桃の収穫を体験していただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

芦田 奈々(筆)



## 豊田推協海岸林ボランティアツアー

仙台空港を離着陸する飛行機が頭上を飛び交う名取市の海岸。オイスカの海岸林再生プロジェクトが、初めてクロマツの苗木を植えた2014年から毎年1回現地を訪れている豊田推協の「海岸林ボランティアツアー」ですが、今年で6回目の訪問になりました。過去最多の32名の参加をいただき、7月8日(月)～9日(火)の2日間現地で雑草と戦ってきました。今回は、クロマツの周りの雑草を鎌で直径1mほどツボ刈りする作業と、排水を良くするための溝切り作業を行いました。曇り空で気温 21℃程という絶好の作業日和でしたが、一生懸命作業に取り組んで頂き「今年が一番疲れた!」という声があちらこちらで聞かれるほど捗りました。

夜は再生の会の鈴木会長さんや地元の方々との恒例の懇親会で美味しい酒を酌み交わし、2日目の作業後は日帰り温泉で汗を流し、「東松島市震災復興伝承館」を訪れて、東日本大震災の悲惨な状況を改めて深く心に刻むことが出来、来年も多くの方が参加して下さることを確信しました。

豊田推進協議会副会長 倉橋 靖俊(筆)



## 富士山の環境整備 1泊2日研修旅行に参加

7月5日(金)～6日(土)1泊2日富士山の環境整備に丹羽推協の鈴木会長を初め12名で参加。8時、鈴木会長の会社集合、レンタカーバス1台に乗車、富士山環境整備の研修旅行がスタートしました。

1日目は、山梨県の南東部にある忍野八海の観光に行ってきました。ビックリしたのは、中国の旅行客がいっぱいで、お店の人に聞いたら90%以上が中国の人だとか。各自、忍野八海の観光地を散策し、マイナススイオンを浴びながら自然を満喫できた一日でした。ホテルから見た富士山は、素晴らしく雄大で綺麗でした。

翌朝、富士山の環境整備に参加。当日は小雨降る中、標高1600m地点に全国から約150名が参加し、下草刈りや鹿から木の芽を守るための防護柵の取替えを行い、いい汗をかくことが出来ました。

丹羽推進協議会副会長 内田 信也(筆)



## 7月研修生の活動

芦田 奈々(筆)



新しく来たフィリピンの技能実習生9名が、はしの使い方を練習しています。実は、9名のうち4名が左利きなんです。



フィリピンの技能実習生が、ジャンデルの指揮で、フィリピンの国歌を歌っております。



中部センターと西日本センターの研修生が、交流しました。研修生たちが多かったため、センターが一段とにぎやかになりました！

### 行事予定表

8月予定

- 3～4日 英語キャンプ
- 5～6日 スペシャルキャンプ
- 17日 幸田町ボンツク大会
- 24日 オイスカ友の会BBQ交流会
- 25日 セーハ修了式
- 28日～30日 CFP子供大使交流

9月予定

- 11日 チャリティゴルフ
- 20日 わらび座公演
- 28日 あさひさんグループ農業交流会
- 28～29日 みよし推協海岸林ツアー

### 更新会員名簿(331/831)

安城(9/69)杉浦正行、前川佳郎、曙工業株式会社、コスモス・ペリース株式会社

岡崎(5/38)太恵食品、小林ひろみ

尾張一宮(4/7)後藤笑子

刈谷(6/49)岡本博和、株式会社オジマ、塚本幸夫、株式会社 Room Search

豊田(127/259)藤澤美香、カトレアビル、深津貴子、神谷典之、菅沼一成、斉藤勝、中島竜二、オカタ産業株式会社

社、今井英夫、加藤文男、山口光岳、深津眞一、作元志津夫、羽根田利明、榎屋小百合、海老澤要造、古木吉昭、中村孝浩、岡田耕一、豊田市長、浅井鋭明、光岡正和、杉本寛文、小島プレス工業株式会社

名古屋(29/64)佐貫将吉、愛知製鋼株式会社、株式会社 トーエネック

丹羽(33/66)一般財団法人 タイム

技研社会貢献委員会、長谷川宏子、株式会社 村金、前田臣代、田中誠次、北川秀子、大竹康平

### 更新会員名簿(続き)

株式会社 扶桑守口食品、田中進一郎

西尾(10/48)株式会社 はと屋、齋藤保夫、伊藤則男、尾崎周二、株式会社 エムアイシーグループ、丸洋建設株式会社

社、西尾商工会議所、長坂建設興業株式会社

半田(15/27)株式会社 梅定、有限会社 オアシス事務所

碧南高浜(4/59)七福醸造株式会社

みよし(48/56)竹谷正富、楽器晴海堂株式会社、近藤義広、今瀬良江、坂口嘉弘、小嶋立夫、クリン・タイム、株式会社 サンコー、阿部憲明、水野隆市、塚本隆敏、近藤公治、谷口美恵、柏佳恵、野口俊子、大山昌一、増岡吉尚、青木良治、伊藤日出男、西郷健、鈴木松彦、河合利彦、原田浩、みよし市役所、有限会社 出原新聞店

セクター(7/42)工藤泰子、宗像ジュイ

三重(17/29)川喜田淑、太陽化学株式会社

清水泰弘

新入会員(個人)

井ノ上由貴男(長久手市)

小林由和(名古屋)

田畑和紀(名古屋)

桜井ひでき(後援会、豊田市)

新入会員(法人)

株式会社 Room Search(刈谷市)

株式会社 藤田美装(名古屋)

税理士法人 タスクマネジメント(名古屋)

株式会社 アクアテック(名古屋)

株式会社 For Nature(名古屋)

株式会社 ハイパーブレイン(名古屋)

### 寄付金

リネットジャパングループ 株式会社(大府市)

株式会社 クラチスタチオ(豊田市)

ガールスカウト愛知県第62団(豊田市)

豊安工業株式会社(知立市)

加藤みつ子(豊田市)

安田工業株式会社(豊田市)

大嶋雅樹(豊田市)

富田司(常滑市)

### 寄付品

片岡孝一(静岡県浜松市)

都筑益恵(豊田市)

勝亦章雄(豊田市)

藤井れい子(西尾市)

加藤みつ子(豊田市)

松石裕就(名古屋)

(株)クロノ種苗(西尾市)

(株)For Nature(名古屋)

柴田勝(三重郡菟野町)

深津美晴(豊田市)

太啓建設株(豊田市)

山口朝子(日進市)

伊藤ミチ子(岡崎市)

工藤泰子(豊田市)

鈴木康予(豊田市)

加藤英行(豊田市)

市脇公平(大府市)

刈谷青年会議所(刈谷市)

酒井良(刈谷市)

中王食肉(株)(刈谷市)

トヨタファーム(豊田市)

小林ひろみ(岡崎市)

酒向淳治(豊田市)

水野カナエ(豊田市)

三井酢店(知多郡阿久比町)

門池養鶏(豊田市)

石川美津枝(安城市)、中村さとし(高浜市)

天野真由美(豊田市)、明保澄雄(岡崎市)

(株)全笑(京都府京都市)

### インクカートリッジ

ボーイスカウト豊田第39団(西尾市)  
金丸善一郎(豊田市)

### 書き損じはがき

ガールスカウト愛知県第62団(豊田市)  
中王食肉(株)(刈谷市)

### ベルマーク

ガールスカウト愛知県第62団(豊田市)

### 丹羽推進協議会 積み木広場

- 8月6日 大口町立南保育園
- 8月9日 扶桑町立栢森放課後児童クラブ
- 8月20日 扶桑町立高雄放課後児童クラブ
- 8月23日 扶桑町立扶桑東放課後児童クラブ
- 8月29日 扶桑町立山名放課後児童クラブ
- 9月5日 扶桑町立斎藤保育園
- 9月12日 大口町立北保育園

## オイスカ米の販売

ミルクィー・クィーン減農薬

玄米 (350円/kg)  
七分・白米 (400円/kg)

大変おいしくて評判です。